

平成25年度 普通会計決算見込みのポイント

大分県

1 豪雨災害からの復旧・復興に引き続き取り組むとともに、国の緊急経済対策を受け入れ、13か月予算として切れ目のない景気・雇用対策を推進したことから、歳出は4年ぶりに増加一方で、県税の2年連続の増収や行革実践力の発揮により、実質収支の黒字幅を拡大し、2年ぶりに単年度収支の黒字を確保

◆歳入 595,975百万円 (+4.6%)

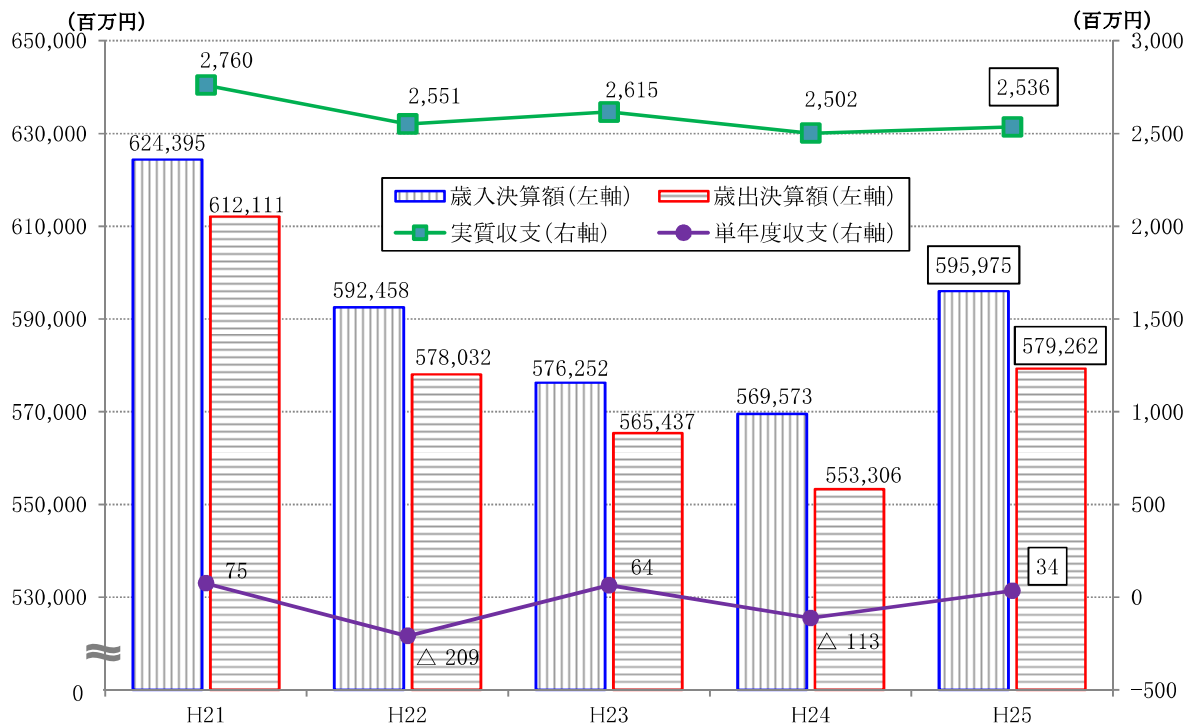
・輸出産業を中心とした企業業績の回復などにより法人二税、地方消費税等を中心に増収したことなどから県税が2年連続で増加するとともに、災害復旧事業や国の緊急経済対策に伴う国庫支出金が増加。一方で、地方交付税は、地方公務員給与の特例減額により減少。

◆歳出 579,262百万円 (+4.7%)

・投資的経費は、豪雨災害からの一日も早い復旧・復興や防災・減災対策を推進したことから、2年連続で増加。一方で、義務的経費は、金利の低下等により公債費が減少するとともに、給与の特例減額等により人件費が減少したことで3年連続の減少。

◆実質収支 H24 2,502百万円 (黒字) →H25 2,536百万円 (黒字)

◆単年度収支 H24 ▲113百万円 (赤字) →H25 34百万円 (黒字)



2 財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、人件費など義務的経費の減少により3年ぶりに大幅に改善。実質公債費比率も低下するなど、財政指標は着実に改善

◆経常収支比率 H24 95.4% →H25 92.5%

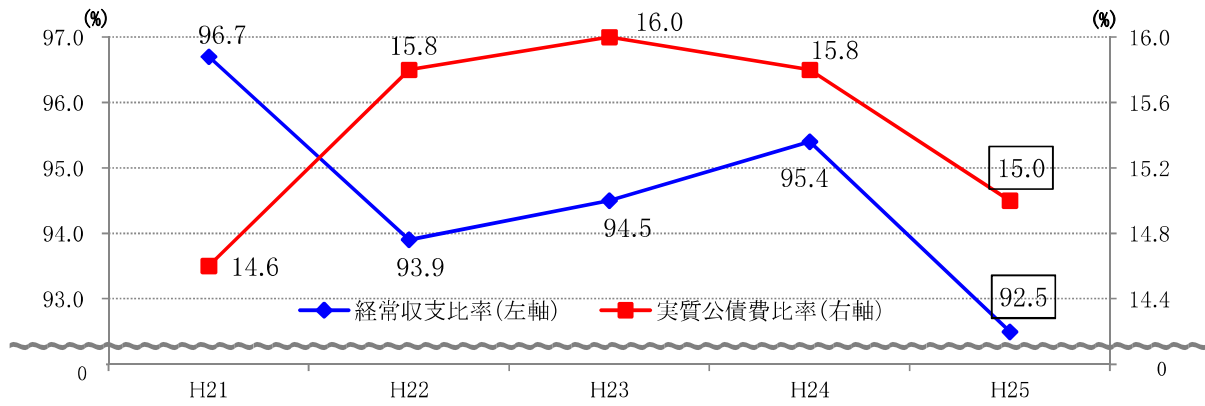
《財政健全化4指標》 ※【基準】：早期健全化基準

◆実質公債費比率 H24 15.8% →H25 15.0% 【基準 25.0%】

◆将来負担比率 H24 181.2% →H25 173.0% 【基準 400.0%】

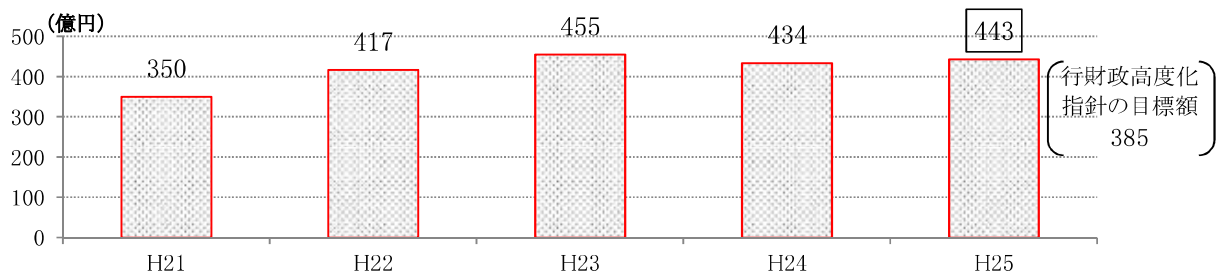
◆実質赤字比率 H24なし(参考▲0.76%) →H25なし(参考▲0.78%) 【基準 3.75%】

◆連結実質赤字比率 H24なし(参考▲5.71%) →H25なし(参考▲5.71%) 【基準 8.75%】



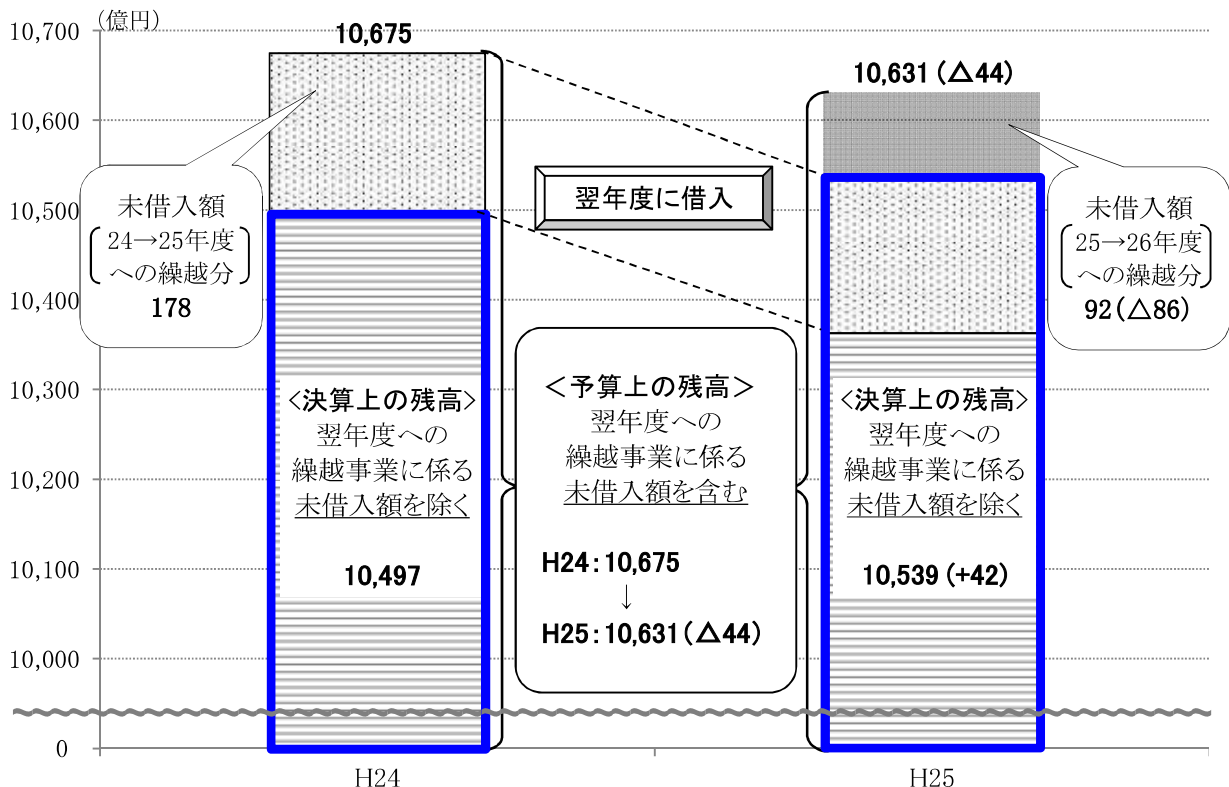
3 県税の増加などにより、財政調整用基金残高は行財政高度化指針の目標額以上を確保  
 予算上の県債残高は着実に減少するものの、決算上は繰越事業に係る未借入額の影響により  
 増加。なお、臨時財政対策債を除く県債残高は12年連続で減少

◆ 財政調整用基金残高 H24 434億円 → H25 443億円 (+ 9億円)



◆ 県債残高 H24 10,497億円 → H25 10,539億円 (+ 42億円)

（臨時財政対策債除く県債残高 7,372億円 → 7,115億円 ▲257億円）※12年連続で減少



○問い合わせ先: 財政課 金子  
 直通: (097)506-2362